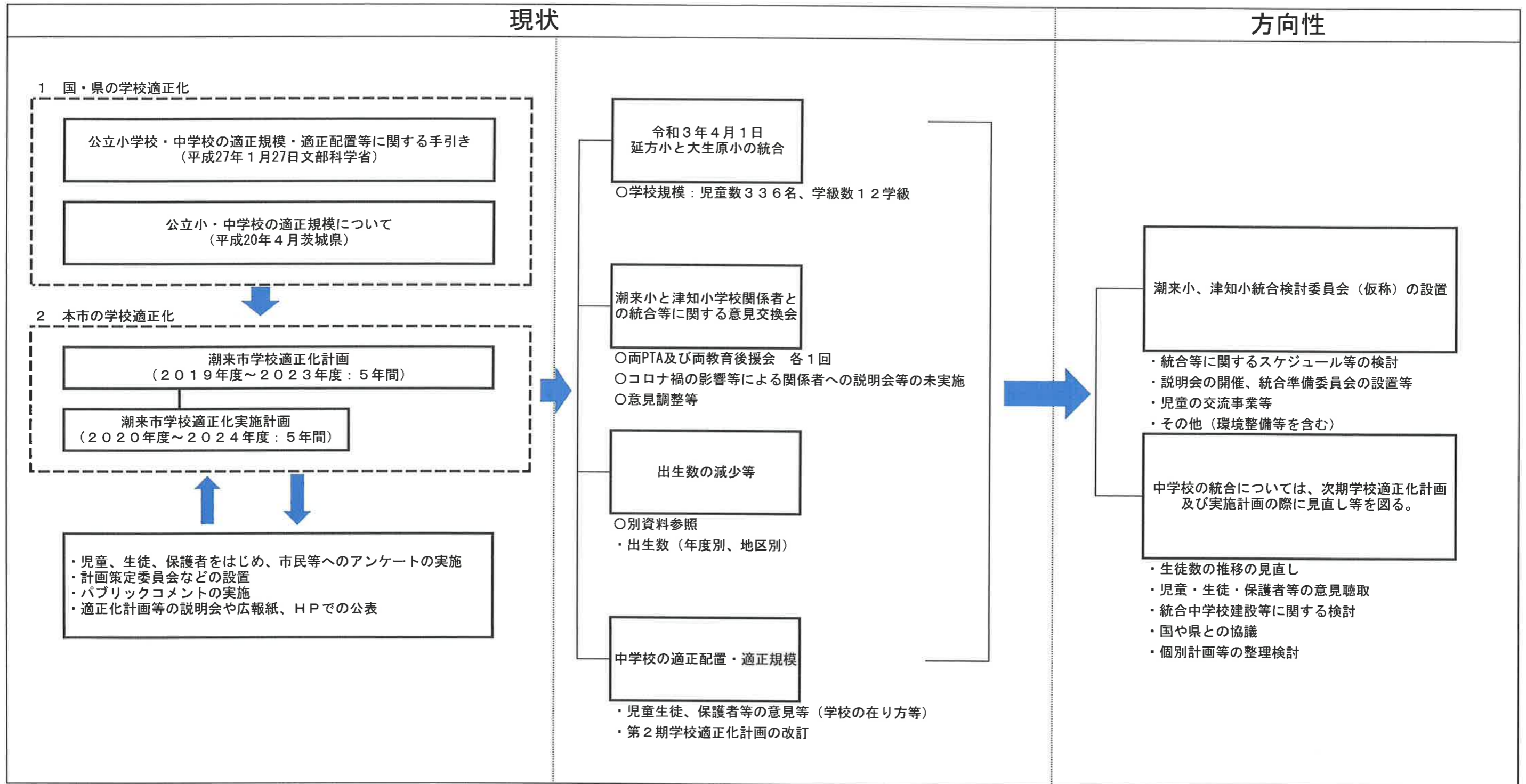


潮来市学校適正化計画等の現状について



小中学校統合等による課題と効果等について

文部科学省が策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成27年1月）」、茨城県教育委員会が策定した「公立小・中学校の適正規模について（指針）（平成20年4月策定）」をはじめ、本市の関係機関からの意見等を踏まえ、課題や効果を整理した。

1 学級数が少ないことによる学校運営上の課題

クラス替えが全部又は一部の学年でできない。
クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。
加配なしには、習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくくなる。
クラブ活動や部活動の種類が限定される。
上級生・下級生のコミュニケーションが少なくなる。
学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなる。
体育教科の球技や音楽教科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。
班活動やグループ分けに制約が生じる。
教科等が得意な児童生徒の考え方にクラス全体が引っ張られがらとなる。
生徒指導上課題がある児童生徒の問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける。
児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じるおそれがある。
運動会、文化祭、遠足、修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる。

2 学校運営上の課題が児童生徒に与える影響

集団の中で自己主張をしたり他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくくなる。
児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすくなる。
協働的な学びの実現が困難となる。
教員それぞれの専門性を生かした教育が受けられない可能性がある。
切磋琢磨する環境が縮小することにより、児童生徒の意欲や成長が引き出しにくくなる。
教員への依存心が強まる可能性がある。
進学等の際に大きな集団への適応に困難をきたす可能性がある。
多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しくなる。
多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しくなる。

3 教職員数が少なくなったことによる学校運営上の課題

経験年数、専門性、男女比等のバランスがとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難になる。
教員個人の力量への依存度が高まり、教育活動が人事異動に過度に左右されたり、教員数が毎年変動することにより、学校運営が不安定になったりする可能性がある。
児童生徒の良さが多面的に評価されにくくなる可能性がある。
多様な価値観に触れさせることが困難となる。
チームティーチング、グループ別指導、習熟度別指導、専科指導等の多様な指導方法をとることが困難となる。
教職員1人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重く、校内研修の時間が十分確保できない。
学年によって学級数や学級当たりの人数が大きく異なる場合、教員間に負担の大きな不均等が生じる。
平日の校外研修や他校で行われる研究協議会等に参加することが困難となる。
教員同士が切磋琢磨する環境がつくりにくく、指導技術等の相互伝達等による向上が図りづらくなる。
学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難な場合がある。
免許外指導の教科が生まれる。
クラブ活動や部活動の指導者確保が困難となる。

4 複式学級の課題

教職員に特別な指導技術（直接指導と間接指導の組合せ等）や複数学年を教員が行き来しながら指導することが求められる。
複数学年分や複数教科分の教材研究・指導準備を行うこととなるため、教員の負担が大きくなる。
単式学級の場合と異なる指導順となる場合、単式学級の学校への転出時等に未習事項が生じるおそれがある。
実験・観察など長時間の直接指導が必要となる活動に制限が生じる。
兄弟・姉妹が同じ学級になり、指導上の制約を生ずる可能性がある。
体育・音楽などの技術教科の指導に教員の負担と児童生徒への制約が生じる。

5 小規模校の効果等

一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。
意見や感想を発表できる機会が多くなる。
様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。
複式学級においては、教員が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる。
運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使用できる。
教材・教具など一人一人に行き渡らせやすい。
異年齢の学習活動を組みやすい。
体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる。
地域の協力が得られやすいため、郷土的教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。

6 統合により生じる課題

統合に伴いスクールバス等の多様な交通手段を導入する場合、徒歩時間の減少による体力の低下
放課後の遊び時間や家庭学習時間の減少
通学距離が長くなることによる児童生徒の疲労等
障害のある児童生徒が遠距離通学となった場合の対応
徒歩や自転車での通学距離が長くなった場合の不審者等による犯罪や交通事故の防止等
通学路の安全点検
通学路要注意箇所把握・周知等
安全な登下校方法の検討
関係機関と連携した交通安全に関する対策等
学校統合により学校規模が拡大することによる児童生徒の学習環境や生活環境づくり
児童生徒と教職員との関係
通学区域の拡大等による学校と地域との関係の希薄化

7 統合による生じる課題への対応等

放課後などを含め1日の運動時間の確保や体力づくり等の実施
放課後の補習時間や宿題に取り組み時間、人材等の確保
放課後学童クラブとの連携
障害のある児童生徒の発達段階や障害の状態、特性等を考慮した対応策と支援体制
通学路安全点検の定期的実施
児童生徒を地域全体で見守る体制づくり
警察や地域と連携した登下校時の安全パトロールの実施
不審者情報等について、保護者や地域関係団体等との迅速な情報共有を図る。
児童生徒に危険予測回避能力を身に付けさせるための教育の充実を図る。
安心安全な通学路を確保するための環境整備
学校行事や部活動等において統合予定校の児童生徒同士の交流
PTAや子供会活動の相互交流
教職員のニーズを十分踏まえた、統合後の指導に必要な研修の実施
学習規律や生活規律等に関するルール、生徒指導の方針、基準等についての調整等
児童生徒や保護者の不安や悩みを把握するためのアンケート等の継続的実施
児童生徒、保護者、教員の悩みや相談に対するスクールカウンセラー等の活用、支援体制の整備
児童生徒の人間関係を早期に構築させる観点から学校教育活動全体を通じた意図的な集団編成
環境変化への適応に困難のある児童生徒への支援計画等

8 統合による効果の見通し等

良い意味での競い合いが生まれ、向上心が高まる。
以前よりもたくましく、教員に対する依存心が減る。
社会性やコミュニケーション能力が高まる。
切磋琢磨する環境の中で学力や学習意欲が向上する。
友人が増え、男女比の偏りが少なくなる。
多様な意見に触れる機会が増える。
異年齢交流が増える。
集団遊びが成立するようになる。
休憩時間や放課後での外遊びが増える。
学校が楽しいと答える児童生徒が増える。
進学に伴うギャップが緩和される。
多様な進路が意識されるようになる。

9 各学年で複数学級を編成できる場合の効果

児童生徒同士の人間関係や児童生徒と教員との人間関係に配慮した学級編制ができる。
児童生徒を多様な意見に触れさせることができる。
新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる。
クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる。
学級同士が切磋琢磨する環境づくりができる。
学級の枠を超えた習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる。
指導上問題のある児童生徒を各学級に分けることにより、きめ細かな指導が可能となる。

10 指導体制や指導方法、環境整備等に与える効果等

複式学級が解消される。
クラス替えが可能になる。
より多くの教職員による多面的な観点で指導できるようになる。
校内研修が活性化する。
教職員間で協力して指導にあたる意識や互いの良さを取り入れる意識が高まる。
グループ学習や班活動が活性化する。
授業で多様な意見を引き出せるようになる。
音楽、体育等における集団で行う教育活動、運動会や学芸会、クラブ活動、部活動など充実する。
少人数指導や習熟度別指導などの多様な指導形態が可能になる。
特別支援教育活動が充実する。
バランスの取れた教員配置が展開しやすくなる。
教材教具が量的に充実する。
校務の効率化が進む。
教育予算の効果的活用が進む。
保護者同士の交流が進む可能性がある。
PTA活動が活性化する可能性がある。
学校と地域との連携協働関係が強化される可能性がある。

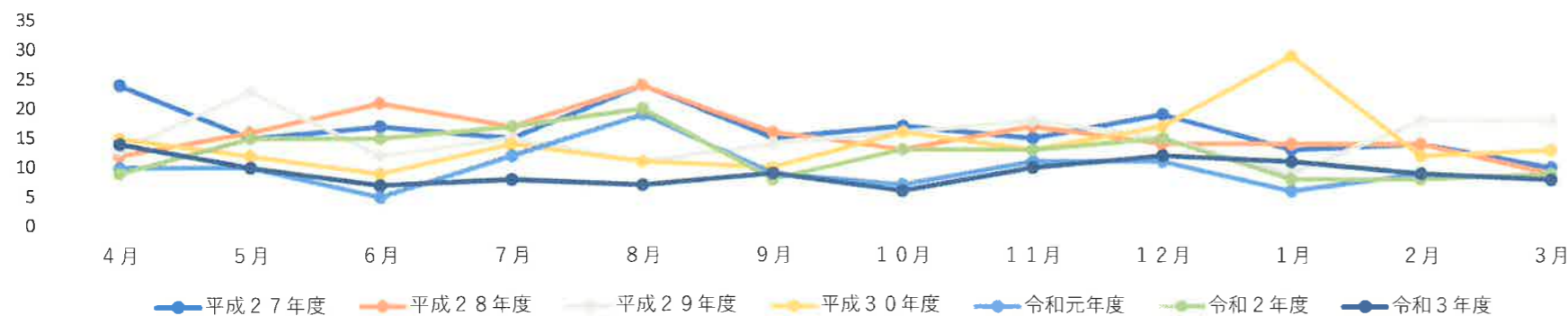
潮来市の出生推計

1 年度別出生者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年間	1年平均	
平成27年度	24	15	17	15	24	15	17	15	19	13	14	10	198	567	189
平成28年度	12	16	21	17	24	16	13	17	14	14	14	9	187		
平成29年度	13	23	12	15	11	14	16	18	15	9	18	18	182		
平成30年度	15	12	9	14	11	10	16	13	17	29	12	13	171	378	126
令和元年度	10	10	5	12	19	9	7	11	11	6	9	8	117		
令和2年度	9	15	15	17	20	8	13	13	15	8	8	9	150		
令和3年度	14	10	7	8	7	9	6	10	12	11	9	8	111		▲63

*上記の数値については、市民課からの年度別異動実績を参照

年度別出生者数



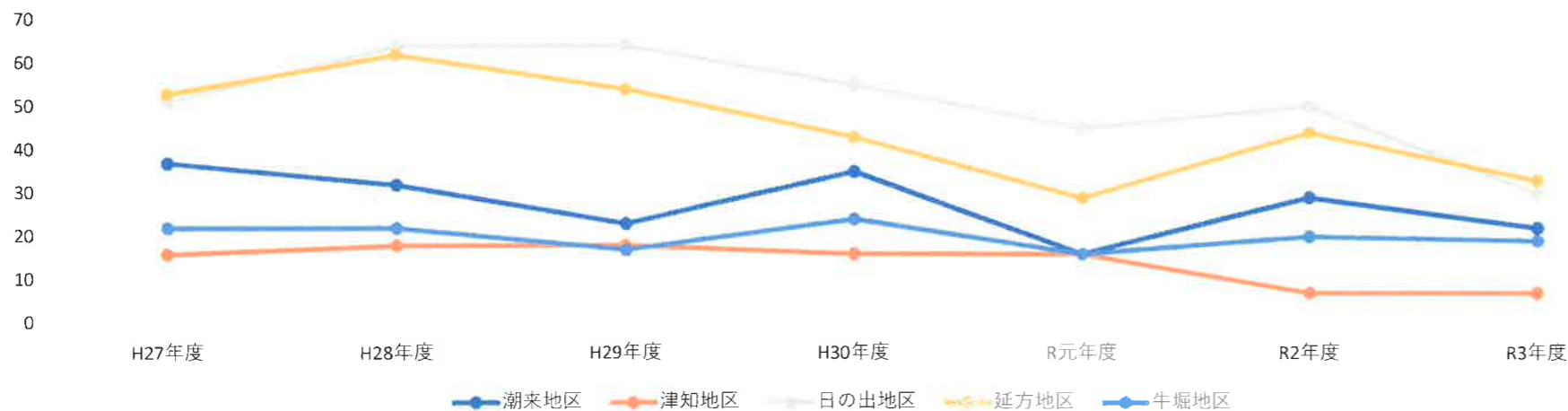
2 年度別各地区児童数推計

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	合計
潮来地区	37	32	23	35	16	29	22	194
津知地区	16	18	18	16	16	7	7	98
日の出地区	51	64	64	55	45	50	30	359
延方地区	53	62	54	43	29	44	33	318
牛堀地区	22	22	17	24	16	20	19	140
	179	198	176	173	122	150	111	1109

1年生入学年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
現在の年齢	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳

*上記の数値については、年齢別人口統計表（R4.4現在）等を参照

各地区児童数推計



潮来市児童数及び小学校の規模の推計

学校適正化計画の児童数の推計値
(2017年5月1日現在の児童数のデータから)

○潮来小学校		30元		2	3	4	5	6	7	8	9	10
児童数	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
1年生	35	38	32	41	26	30	26	30	30	30	29	28
2年生	32	35	38	32	41	26	30	26	30	30	30	29
3年生	36	32	35	38	32	41	26	30	26	30	30	30
4年生	36	36	32	35	38	32	41	26	30	26	30	30
5年生	43	36	36	32	35	38	32	41	26	30	26	30
6年生	42	43	36	36	32	35	38	32	41	26	30	26
推計	224	220	209	214	204	202	193	185	183	172	175	173

学級数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
1年生	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年生	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
3年生	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
4年生	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
5年生	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
6年生	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
推計	8	8	6	7	7	7	7	7	7	6	6	6	

児童数の推計値 (見直し案)

○潮来小学校		30元		2	3	4	5	6	7	8	9	10
児童数	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
1年生	35	43	39	40	32	38	32	23	35	16	29	22
2年生	32	35	43	39	40	32	38	32	23	35	16	29
3年生	36	32	34	43	39	40	32	38	32	23	35	16
4年生	36	38	32	34	43	39	40	32	38	32	23	35
5年生	43	37	37	30	34	43	39	40	32	38	32	23
6年生	42	41	36	37	30	34	43	39	40	32	38	32
推計	224	226	221	223	218	226	224	204	200	176	173	157

学級数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
1年生	1	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1
2年生	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1
3年生	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1
4年生	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1
5年生	2	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1
6年生	2	2	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1
推計	8	8	8	8	8	9	9	8	8	7	7	6	

○津知小学校		30元		2	3	4	5	6	7	8	9	10
児童数	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
1年生	20	16	17	22	23	19	22	20	20	20	20	19
2年生	25	20	16	17	22	23	19	22	20	20	20	20
3年生	28	25	20	16	17	22	23	19	22	20	20	20
4年生	19	28	25	20	16	17	22	23	19	22	20	20
5年生	36	19	28	25	20	16	17	22	23	19	22	20
6年生	25	36	19	28	25	20	16	17	22	23	19	20
推計	153	144	125	128	123	117	119	123	126	124	121	119

学級数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
1年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
推計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	

○津知小学校		30元		2	3	4	5	6	7	8	9	10
児童数	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
1年生	20	19	19	27	21	18	18	18	16	16	7	7
2年生	25	20	20	19	27	21	18	18	18	16	16	7
3年生	28	25	19	20	19	28	21	18	18	18	16	16
4年生	19	28	25	20	20	19	28	21	18	18	18	16
5年生	36	19	28	26	19	21	19	28	21	18	18	18
6年生	25	35	20	27	26	19	21	19	28	21	18	18
推計	153	146	131	139	132	126	125	122	119	107	93	82

学級数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
1年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
推計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	